

車載用映像機器・オーディオ機器に関する取扱上のご注意

- お客様が機器を安全に使用していただくために必ず守らなければいけない機器取り付け上の注意事項を記載しています。機器の取付前に必ずお読みいただき、内容を充分ご理解の上、機器の取付を行って下さい。
- 機器の取付、取扱いについては、製品に同梱されている取付説明書及び取付要領書に基づき、正しく行ってください。

安全に正しくお取付けいただくために

この説明書の表示では、製品を安全に正しく取り付けしていただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

◎誤った取付けにより生じる危害、損害の程度を次の2つに区分して表示しています。

警告

この表示を無視して、誤った取り付けをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り付けをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

◎注意事項の絵表示と意味は次の通りです。



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

■作業を始める前に

警告

- 機器はDC12V車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しない・・・
火災や故障などの原因となります。



- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す・・・
プラス⊕とマイナス⊖経路のショート事故による感電やけがの原因となります。



注意

- 機器の取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご依頼する・・・
誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- エアバック装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行う・・・
エアバックが誤動作する原因となることがあります。



車載用映像機器・オーディオ機器に関する取扱上のご注意

■取付場所について

⚠警告

- 機器を次のような場所に取り付けない…
 - ・前方の視界を妨げる場所
 - ・ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所
 - ・同乗者に危険を及ぼす場所
交通事故やけがの原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない…
エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。



⚠注意

- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへは取り付けない…
本機に水や湿気、ほこり等が混入すると発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- 振動の多いところなど、確実に固定できないところには取り付けない…
本機が外れて、事故やケガの原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところや、本機の通風穴や放熱部をふさぐところには取り付けない…
本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。



■取付上のご注意

⚠警告

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意する。また、加工部のサビ止めや浸水防止を施す…
火災や感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない…
これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。
- アンテナは、運転者の視界を妨げないウィンドー上部に貼り付ける…
視界を妨げる位置に貼り付けると、安全運転に支障をきたします。



⚠注意

- 必ず付属の部品を指定通りに使用する…
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しつかりと固定できずに外れることがあり危険です。
- 車体に穴を開けてコード類を配線するときには、絶縁性グロメットを使用する…
開口部とコード類との接触により、すり切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。



車載用映像機器・オーディオ機器に関する取扱上のご注意

■結線上的ご注意

警告

- 機器の電源端子をバッテリーに直接接続する場合は、指定容量以上の電源コードを使用する…
指定容量に満たないコードを使用すると、電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となることがあります。 
- 接続コード類の配線は高熱部を避けて行う…
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。 
- コード類は、運転操作の妨げとならないようにテープなどでまとめておく…
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。 
- 電源コード被覆を切つて、他の機器の電源を取ることは絶対にしない…
電源コードの電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となります 
- 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープなどで絶縁する…
ショートにより火災・感電の原因となります。 

注意

- 取付説明書で指定された通りに接続する…
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。 
- コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで確実に固定する…
コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートして、事故や火災の原因となることがあります。 
- 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線する…
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。 
- 正規の接続をする…
火災や事故の原因となることがあります。 
- 天気の良い日中に取付ける…
雨、霧など湿気が多いときは、両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。 
- 取付後、24時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)にあてたり、無理な力を加えない…
両面テープ接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。 
- ケーブルクランパーの両面テープは、指でさわったり貼り直したりすると、接着力が弱まるので、取扱には十分注意する…
両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。 

■作業が終わったら

警告

- 取り付けと配線が終わった、ブレーキやライト、ホーンなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する…
正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。 